



- 本田純さん追悼
- 町中表示板「湧水の白子川」
- 大泉南小4年生の授業協力
- 定例活動報告
- 投稿「大泉に越した頃の話」その2

「白子川源流・水辺の会」の会報誌

湧き水は、今も。

「僕は、川の水に興味あるんですけど一緒に白子川に入りませんか？」と本田純さんに言われたのは、10年ほど前のみどり広場管理委員会でのこと。

静かで強引な本田さんの術中にはまらせてもらい、気がついた時には源流の中を二人で歩いていた。

純さんは、あちこちから出ている湧き水を、まるで自分の力で出しているかのように「すごいでしょ！」と自慢していたが、僕は僕で、故郷の清流で親しんだホトケドジョウを“発見”し興奮して見せた。

「あっ、そうなんですか、すごいですね、う〜ん」と、あなたらしく感動していたね。



僕らにとって、湧き水とホトケドジョウとの出会いは、“初めの喜び”とでもいうべきものだったんだ。

川や生き物と、いつもじっくりと向き合っているあなたを、できれば、もう少し、支えたかったけど…、もう遅いよね。

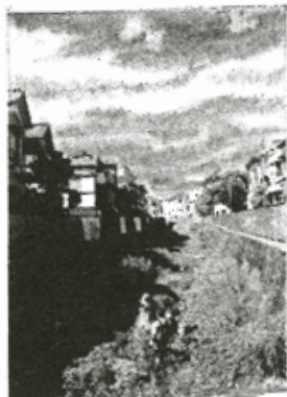
たくさんのことを、ありがとう。（菅沢）





定例活動

4/26(日)報告



青空に白い雲がたなびいて、すがすがしい、初夏のような一日。南小の先生方と4年生の子どもたちの助っ人もあって、賑やかな定例活動となりました。

木道では子どもも大人も、どろどろの水をすくって生きものを探していました。小さい男の子が、ホトケドジョウをジーっと見つめ「このコ、かわいいね～」と、ホトケドジョウをやさしくなでしていました。

水質検査は3人でなんとかやりくりし、川掃除に出かけた3人は、火之橋の先で3メートル程ある長い板を発見！引き上げていると、通りがかりのおばさんが、「それ、子どもたちが川に入れたんだわ」と教えてくれました。

川は花盛りで、あまりにも美しい水草があったので調べたら「トキワツユクサ」でした。

井頭堰は水が豊富で、ザアザアと音を立てて流れていましたが、ナント、その堰を越えようと、ギンプナが何度も飛び跳ねているではありませんか！ここにも、命の物語がありました！

みなさん、お疲れさまでした。



活動記録(08.12-09.4)

- 12/20 会報『源流通信 25号』発行
- 12/21 定例活動
- 12/23 クリスマス竹キャンドルナイト
- 【2009年】
- 1/16,17 白子川整備事業 第1回
住民説明会(御園橋～新橋間)
- 1/25 定例活動
- 2/22 定例活動 運営会議
- 3/14 活動団体紹介 in 大泉 に参加
- 3/18 東京都公園協会より助成金3万円
- 3/28 定例活動(3/22分)
- 3/31 町中表示板『湧水の白子川』入荷
- 4/26 定例活動、運営会議
- 4/27 大泉南小学校 白子川学習授業

//////日の出橋の下にも入ります。//////

【身近な川の一斉調査】

6月7日(日) 9時-12時

大泉井頭公園(井頭橋)集合

第8回「身近な川の一斉調査」が行われます。

(新河岸川流域水環境連絡会主催)

今回は、調査ポイントを2ヶ所減らします。

◎大泉井頭公園、日の出橋の2地点の
水質・水量・水温・生物・川幅などを
調査します。

(班分けせずに2ヶ所を全員で行います)

今年も白子川学習がスタート

大泉南小 4 年生、大張り切り！

大泉南小学校の総合学習「白子川博士になろう」が今年もスタートするにあたり、4月27日の約1時間、当会がキックオフ授業を受け持ちました。

今回の「先生」は、私の他に新たに横山会員と永井会員が加わり3名による授業でした。

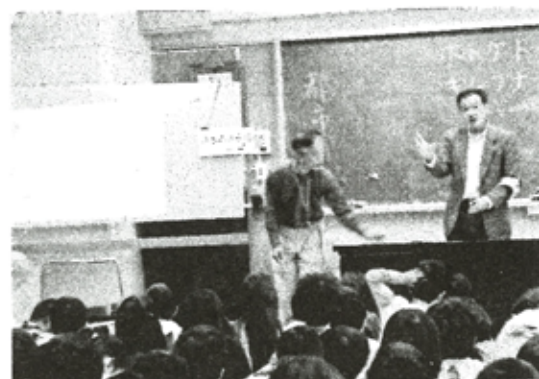
まず、当会の活動を紹介。そして、今朝の白子川の様子を伝えた後に、湧き水がどこから来るのかなどを導入部としてお話ししたあと永井会員からは、地球全体の水を 2リットルのペットボトルにたとえて青い水を用意し、さて、私たちが使う水はどのくらいか・・・という話を目に見える形で話しました。

横山会員からは、大雨のときの下水の流入や、それに対処するための溜池の話。そして、白子川の生き物を、写真やスクリーンで紹介していきました。

永井会員の「アメリカザリガニと一番仲良しになれる時は？」の話は、子どもたちの興味をぐっと引きました。

最後に、川底のドロを用意し、そこから何が出てくるか観察して、記録用紙に記入することになりました。

源流まつりでの発表が楽しみです。(菅沢)



《 地域の話題 》

東大泉 7-26 にある「みどり広場」では様々な楽しいイベントが行われています。4月19日には【竹の子まつり】で賑わいました。9月には「小さな森のコンサート」も。

広場の掲示板に注目！

追悼 本田純さん

本田純さんと白子川整備検討会

蒔田 實

平成14年1月20日、勤労福祉会館で白子川流域連絡協議会の講演会が開催されました。芝浦工大の守田優教授の「水循環と地下水涵養」と題した講演で、講演後の質疑で、最初に質問に立たれたのが本田さんでした。真面目かつ真剣な態度が大変印象的で、今でもその姿が鮮明に思い出されます。私も質問をしたことから、講演後に本田さんからご挨拶を頂き、「白子川源流・水辺の会」への参加を呼びかけられ、「会」とのお付き合いが始まりました。

その後暫くして、本田さんは、白子川の護岸の改修工事が開始される情報をいち早くキャッチし、東京都第四建設事務所に地域住民の要望を取り入れるよう働きかけを始めました。大塚にある事務所を何回も訪問し、住民側の要望(市川尚紀さん・現近畿大学と理科大の学生さんの協力で作上げた)を提案出来たのも、本田さんの熱意によるものでした。

これを契機として、東京都は、住民参加の「白子川整備検討会」を発足させました。東映橋から三つ橋にかけては右岸側が緩斜面の護岸にできることから、住民との協議による計画案が種々検討されました。最終的に、本田さんが最も期待した自然護岸とする案が採択され、平成21年度着工されることになりました。

排水路のような直立護岸の白子川に、みどり豊かな緩やかな斜面の自然型護岸が、はじめて整備されるわけです。着工直前に遠くに旅立たれたことは、本当に残念です。しかし、心残りは本田さん自身の筈ですので、千の風になって、必ずや夢の自然護岸の完成を見守ってくれていると思います。

合掌



大塚メダカ博士が自宅で実施している **メダカ飼育教室**。

今年は、産卵時期の6月に予定しています。

本田さんと川の生き物たち

須貝 郁子

本田さんは川を常にそこに棲む生物の視点で見ているように思います。「カルガモの子が流されないように、犬に襲われない様に茂みが必要不可欠」「新河岸川からアユが遡上できるように魚道を作って欲しい」「ホトケドジョウが生息できる環境を再生したい」等々本田さんの目はいつもそこに棲む生物の生活環境に向けられ、熱く語っていました。

そしてとうとう白子川に這いつくばって水中カメラで白子川の川底の映像が出来たわけですが、生物をいとおしむ本田さんの気持ちがよく出ていると思います。

ギンブナやホトケドジョウがまるで仲間

が来たかのように穏やかな表情で撮影されています。

本田さんは大成橋から下流をも撮影したいと言っていたいただきましたが、今となっては叶わぬ事となってしまう、大変残念に思います。

白子・大成橋の辺りでは初夏の頃アユやスズキが上がってきています。本田さんが切望されていたように落差には魚道を作り、魚や水生生物が上流まで行き来できる川になりたいものです。残された私たちへの宿題です。

本田さんのご冥福をお祈りいたします。



総会のおしらせ

この1年の振り返りと、新たな活動計画を決める大切な場です。ぜひ、ご出席ください。

日時：6月21日（日）13:30～15:15

場所：勤労福祉会館 2F 会議室(中)

本田さんの 思い出を語る会

総会に引き続いて、去る2月に亡くなられた本田副代表の思い出をたどります。

(15:30～16:45)

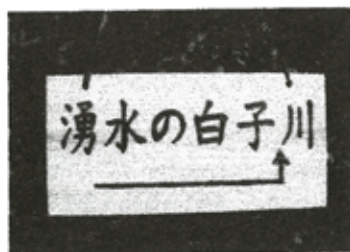
白子川って、どこにあるの？

= 白子川表示板を町じゅうに =

“大泉の宝”=白子川を、もつともつと多くの人に知ってもらうために、木製の『白子川表示板』を企画製作しました。(当会では第三バージョンのプレート)

今までのプレートと違う点は、

- ①川から遠い地域に掲示
- ②町の中で目立つ大型サイズ
- ③厚板にペンキ文字で耐久性向上
- ④湧き水の川であることを強調したこと、です。



★取付方法・・・東大泉、南大泉、石神井台(一部)で、掲示効果のある家々(100ヶ所)に訪問し、塀への取付許可をもらう。

*5月に1回目の訪問・取付を予定

◎製作費・・・練馬区都市整備公社まちづくりセンターからの助成金の一部を使用しました。

◎製作協力・・・学校法人旭出学園(練馬区東大泉)

地域のイベントで、

大きな成果

3月14日に大泉小学校で開催された「きつと見つける！あなたが役立つ 地域の活動 in 大泉」に、10の団体の一つとして参加しました。会報の印刷でいつもお世話になっている大泉ボランティア・市民活動コーナーをはじめ、つくりこの家やまちづくりネットなど福祉関係の団体の中では唯一環境分野と、異色の白子川源流・水辺の会でしたが、そこが光った！

なんと雨にも負けず訪れた入場者の中に、運命の赤い糸で結ばれたような男性が2名。宣伝のすだれ看板や写真パネルを熱心に眺めて、会の活動に興味シンシンのご様子。すかさず担当の菅沢代表、生物に詳しい横山会員の巧みな口説き。次回の定例会に「ぜひに」と参加を呼びかけました。新会員ゲットなるか?! 乞うご期待!



この日は、用意した白子川グッズのうち、絵はがき2セット、わら筆1本まで売れて、イベント参加の成果に大満足の私たちでした。

追伸：3月の定例会。早速、先日のイベントでお誘いした男性の方が、長ぐつ姿で参加。その日のうちに会員に。ヤッター!! (東谷貞子)



昭和 37(1962)年、南大泉の生活が始まった

大泉に越した頃の話(その2)

池野 明男

HINO-O

保谷駅を出ると右の手前は駅長殿の官舎宅、駅前広場は砂利敷で、そこにはごく中型のボンネット・バス(吉祥寺行、田無行、武蔵小金井行、荻窪行四系統)が1台位鎮座し、小さなカバンを肩にしたおさげにモンペ(パンツー)姿の娘車掌さんが所在なく佇んでいる。横隣にある大屋根の野菜集荷所のポンプ井戸の蓋には、必ず猫が昼寝しているのが常でした。↗

駅前通りは大泉・田無街道(現在の都道補助 233 号線)で、今も昔も狭い二車線。両側は板で覆った汚い側溝で、泥で固めたような穴ボコだらけの道が続き、まさに本格的田舎町の風景でした。

その頃でも保谷駅は、電車基地のある始発駅で主要駅の為か、駅周辺の商店の数も大泉学園やひばりが丘駅(旧称は田無町駅)と比べても、郊外としては比較的繁華な商店街を形成していたようです。寿司店やそば屋など、当時の店も 7、8 軒位は健在なのもうれしい限りです。昔、伊勢屋(甘味や赤飯、稲荷寿司が定番の店)の向こう前、現在、D・ドラッグストアの土 ↘



地辺りに、大泉学園駅前よりも早く、スーパー店「こうだ」が開店したときは、チンドンやさんが出たこと、客が各自カゴを持って品物を入れ勘定場で精算する方式はその便利さが珍しく、客が「押すな押すな」ですごかったこと、などを覚えています。

昭和 40 年代に入ると駅ビルが出来、その脇に西友のビルが建ち、丸正保谷店も開店、駅北口から数分にはマルエツ南大泉店、東方にはコモディイイダ南大泉店も進出して、今やスーパーマーケットとコンビニ店を合せば 15、6 店を数える便利な買物街になりました。

マンション(欧米での「フラット」)や住居兼用店

舗ビルが建ち始めたのは昭和 50 年代の中、後半からで、昔の友人には「田舎町」が今は「ミラノ」のようだと言ってやりました。何故「ミラノ」かというと、昔の名称の美容院がペラポーに多く、20 軒は下らない勘定だからです。

また、ドラッグストア以外の純薬局も多く、病院・診療所こそ少ないが内科・外科・眼科の医療関係の施設機関もやたら多くなったので、私は南大泉西部保谷東地区を「メディカルタウン」と勝手に言っています。ここ 2~3 年は駅北口が開発され、一寸以前は畑だったのを思うと、まさに「桑海の変」(土地の様子が昔と全く変わってしまうこと)ですね。(次号つづく)

白子川の生き物シリーズ

コゲラ

横山 松栄

コゲラはキツツキ科の鳥で、都会に増えてきています。白子川火の橋近くの桜の木等でもよく見かけます。大きさは成鳥でも15cmぐらいで、キツツキ科では最も小さい種類です。羽の色はシマウマのような灰褐色と黒のまだら模様で鳴き声に特徴があり、「ギー」という声で鳴きます。木の枝や幹をつつき、隠れている虫などを食べます。キツツキ科らしくドラミングをし、枯枝を突いて穴を開け、巣にします。



・・・トピックス・・・

■練馬区まちづくりセンターの「まち活つうしん⑨」に当会が(20年度活動助成金団体として)、2ページにわたって紹介されました。 一今号の会報に同封しました。一

■パルシステム生活協同組合連合会のPR誌『のんびる』6月号の「わが里山」(カラー1頁目)に、白子川源流と当会が掲載されます。

■アニメのふるさと環境マガジン「アニッコ」6月号に白子川源流界隈が掲載されます。この冊子は子供向けで、日本動画協会と西武鉄道の社会貢献プロジェクトとして年数回発行されており、西武線各駅等に置いてあります。

■財団法人東京都公園協会より、30,000円の20年度助成金をいただきました。

今後のスケジュール

5月24日(日) 13:00~	【定例】川そうじ、水質、生き物等調査。 いつもより30分早く開始
6月 7日(日) 9:00~	◆『身近な川の一斉調査』に参加。 井頭橋に集合。
21日(日) 13:30~	◆第9回定期総会と 本田純さんの思い出を語る会
28日(日) 13:30~	【定例】川そうじ、水質、生き物等調査。
7月26日(日) 13:30~	【定例】川そうじ、水質、生き物等調査。
8月23日(日) 13:30~	【定例】川そうじ、水質、生き物等調査。

★〈源流まつり〉は、10月18日(日)に開催します。



連休前に、ナス、トマト、キュウリの苗を庭に植えた。ここ数年来、我が家に於いては久しぶりの現象であった。今は花も咲き出して、夏の収穫が待ち遠しく楽しみだ。体調不良でその心境に成れなかったのである。

ふっと思いついて、近所の園芸店で苗を眺めているうちに、心が楽しくなり一挙に植え付けまでやってしまったのである。非常に疲れたが何とも心地良い。体調が回復している証かと、幸せなこの頃なのだ！(シブチ)

会のホームページ紹介

http://www.geocities.jp/sirako_river/

私たちの活動内容、白子川源流の様子や貴重な湧水が湧いていること、水質のこと、生き物、四季の風景などをわかりやすく掲載しています。

(「白子川源流・水辺の会」と検索)

川に入りませんか

白子川の水辺環境を良くするために、一緒に活動しませんか。

毎月第四日曜日1時半から、大泉井頭公園内にて川掃除等を行なっています。



- ◎正会員 年会費2,000円
 - ◎世帯会員 年会費3,000円
 - ◎法人会員 1口2,000円以上
 - ◎通信購読会員 年会費1,000円
- (学生は無料)

※この会報は年3回発行しています。

発行 白子川源流・水辺の会
代表 菅沢 博
03-3923-8430
練馬区南大泉 1-10-5
題字 宮本 沙海